

# 陶磁器 デザイン 講演会

● 講師

工藤省治

「私の仕事」

〈業(わざ)、創作、育成〉

大野千佳

「砥部焼とデザイン」

〈梅山窯に見る、昭和のデザイン運動と砥部焼〉



「染付切立唐草文皿(昭和五十年代・梅山窯産)」 玉泉豊撮影

本財団では、公益事業のひとつとして「陶磁器意匠に関する講演会」を開催しています。陶産地の窯元・デザイナー、後継者、或いは消費者の皆さまにとって、ものづくりや見方・考え方の礎となり、やきものについて深く考える契機となるような講演会になればと願って開催するものです。

本年度は、戦後の砥部焼(愛媛県)の再生・発展に大きく貢献された工藤省治氏と、その砥部焼の発展を支えた商品開発の動きについて研究された大野千佳氏に講演して頂きます。

本講演会では、職人的な手作業と、その組織化、そして持続的な後継者育成によって、個性的な産地に発展した戦後の砥部焼を、商品開発の視点から大野氏に俯瞰して頂き、その発展の中心にあって、砥部焼に大きなデザイン資産を残される仕事をされた工藤氏から、ご自身の創作活動や産地の人材育成について、また、陶磁器制作に関わる後進の方々への思い伺いたいと考えています。

日時 2014年10月14日(火) 午後6時30分～8時30分 ※予定

会場 セラトピア土岐 3階大会議室

岐阜県土岐市土岐津町高山4 Tel. 0572-54-2120

参加費 無料



撮影 玉泉豊



工藤省治 Shoji Kudo (左)

愛媛県砥部にて陶磁器研究工房「春秋窯」主宰、梅野精陶所(梅山窯)にて長年、商品開発・デザインディレクターを務める。

大野千佳 Chica Ohno (右)

「工藤省治の仕事と昭和のデザインプロジェクト展」(愛媛県美術館、本年3月開催)に実行委員として携わる。コピーライター。エヒメデザイン協会会員。

〈後援〉愛知県立芸術大学

〈協賛〉国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会／岐阜県陶磁器工業協同組合連合会／岐阜県陶磁器デザイナー協会／土岐市立陶磁器試験場・セラテック土岐

〈主催〉公益財団法人 日本陶磁器意匠センター  
名古屋市東区代官町39番18号 Tel.052-935-7234

10th Anniversary  
国際陶磁器フェスティバル美濃'14  
INTERNATIONAL CERAMICS FESTIVAL'14 MINO, JAPAN